

所 属 鳥取県漁業協同組合（浜村支所）

氏 名 たまお しんご
玉尾 新吾（46歳）

船 名 だいにこうふくまる
第2幸福丸 3.0トン

漁業種類 刺網、一本釣り



～海が好き。情報と経験を駆使する一本釣り漁師～

玉尾さんは小さなころから海で遊んで育ち、父親が漁師だったことも手伝って漁師になった。子供のころ父親の船に乗ってイカ釣りについていった時、自分の手でイカを釣ったことに感動し、漁業の楽しさに魅了された。

社会人になり一度は海から離れ、土木関係の仕事に就いたが、やはり漁師になりたいと思ひ、仕事を辞めた。玉尾さんが漁師になった時には、父親は引退していたために同じ浜村支所の浜辺光男さんを師匠と仰ぎ、そこで一から漁師としてのノウハウを学んだ。独り立ちした今でも、周りの人からのアドバイスを受けるようにしているそうだ。「漁では情報が大事、同じ支所だけでなく、別の支所の人からも幅広く情報収集する」と語る。

7年前には船のエンジンをパワーアップし、より遠くの漁場にも行けるようになった。漁法は主に一本釣り。「刺網をすることもあるが、一本釣りのほうが儲けはいいし、何より楽しい」と笑う。海が好きで、釣りも好き。漁師は玉尾さんにとって天職なのだろう。

～他の人には負けない～

今は魚は安いし、なかなか取れない、燃料だけ使って帰ってくるときもあると嘆いていた。でも、そうして嘆いてばかりもいられない。今までの経験と情報を駆使して試行錯誤の日々だ。それでも、他の人には負けないと語る。その秘訣について尋ねると、「企業秘密」。やはり、苦勞して導き出した技術は簡単には教えられないか。

（文責：西田 智亮）